

# ANTENNA

## 第1回全統高2模試

全国75,453名の高2生が参加して実施された第1回全統高2模試の成績結果と学習アドバイスをお届けします。この結果を参考に夏休み以降の学習に十分活用してください。

今回の出題については、実施時期を考慮し、各教科における基本事項がどの程度理解されているかの確認を目的に実施しました。模擬試験は結果だけがすべてではありません。誤答箇所を確認し、理解を深めておく事こそ必要不可欠です。そのためにも「学習対策」を熟読し、もう一度各自の不得意分野を復習しておいてください。

次回の第2回全統高2模試では、皆さんの一層のステップアップを期待します。頑張ってください。

### 《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

[www.kawai-juku.ac.jp/zento/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/)

スマートフォンの方はこちら



## も く じ

《全統模試見直しシート》	2
《これが今回の模試の結果だ》	
個人成績表の見方	3
・あなたの成績と比較しよう	
総合成績表・科目別成績表	5
・どの設問で差がついたか確認しよう	
教科科目別設問別成績表	6
小問(単位問)別平均点	7
《弱点克服のためにもう一度見直そう》	
学習対策	9
英語	9
数学	9
国語	10
《採点に関する問い合わせについて》	11
《お問い合わせ先一覧》	13

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

## 全統模試 見直しシート

## STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

## STEP 2

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

## STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

## STEP 4

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！  
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/)

# 個人成績表の見方

各項目について、詳しくは4ページをご確認ください。

## 1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル		平均点		順位	
			S	A	(人)	(人中)	(全国偏差値による)	(人中)
英語 英語	129 / 200	70.0	S	A	69.0	4893	144624	68.8
総合	123 / 200	64.2	A	B	78.2	11646	136281	78.6
数学 必須問題	39 / 150	63.9	A	B	64.2	12200	136281	64.9
選択問題	34 / 50	71.3	S	A	14.0	4400	135038	14.0

## 全統高2模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル		平均点		順位	
			S	A	(人)	(人中)	(全国偏差値による)	(人中)
英語 英語	129 / 200	70.0	S	A	69.0	4893	144624	68.8
総合	123 / 200	64.2	A	B	78.2	11646	136281	78.6
数学 必須問題	39 / 150	63.9	A	B	64.2	12200	136281	64.9
選択問題	34 / 50	71.3	S	A	14.0	4400	135038	14.0

## 全統高2模試 個人成績表 第2面【秘】

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル		平均点		順位	
			S	A	(人)	(人中)	(全国偏差値による)	(人中)
英語 英語	129 / 200	70.0	S	A	69.0	4893	144624	68.8
総合	123 / 200	64.2	A	B	78.2	11646	136281	78.6
数学 必須問題	39 / 150	63.9	A	B	64.2	12200	136281	64.9
選択問題	34 / 50	71.3	S	A	14.0	4400	135038	14.0

## 3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう  
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう  
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう H: 教科不足による国公立大参考評価

学力要素区分	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	平均偏差値	あなたと同じ学力レベル層との比較	
					学力要素別偏差値(偏差値)	偏差値の差 (%)
知識・技能	61.7	36.6	31.4	54.7	7.0	知識・技能 ★
思考力・判断力	62.6	40.3	32.5	65.2	-2.6	思考力 ★
表現力	75.0	46.1	36.8	72.0	3.0	表現力 ★
知識・技能	52.7	53.9	58.2	56.9	-4.2	知識・技能 ★
思考力・判断力	78.3	59.9	62.4	63.2	-15.1	思考力 ★
表現力	100.0	58.4	64.8	59.4	40.6	表現力 ★
知識・技能	48.0	41.6	38.4	50.0	-2.1	知識・技能 ★
思考力・判断力	71.8	56.5	55.1	66.6	5.2	思考力 ★
表現力	39.3	32.3	29.7	39.2	0.1	表現力 ★

回	偏差値	第1志望校との成績比較				
		30	40	50	60	70
1 (5月)	57.1					
2 (8月)	64.2					
3 (月)						

## 4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 本年度の第1~3回全統高2模試・全統記述高2模試の成績推移を表示しています。

## 2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差があったのかを確認しましょう

- 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

設問別成績	内 容	あなたの得点	全国平均点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較		第1志望校との成績比較
					平均点	偏差値	
1	リスニング	18 / 20	8.2	7.0	11.8	6.2	31.0%
2	英会話	4 / 8	3.1	2.7	3.7	0.3	3.8%
3	英文基礎	15 / 32	15.4	12.1	17.8	-1.8	-5.6%
4	英作文	21 / 40	10.2	7.9	19.1	-1.9	-4.8%
5	英文総合I	31 / 55	20.8	16.4	35.4	-4.4	-8.0%
6	英文総合II	39 / 45	24.1	20.0	37.3	1.7	3.8%

成績を確認したら、弱分野やライバルと差があった問題を中心に、しっかりと復習しましょう!

**ANTENNA(成績統計資料)**  
 過去結果をもとめた各問題のポイントや学習アドバイスなど、弱分野に役立つ情報が満載です。模試受験後の復習に活用してください。

**模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)** 利用料無料  
 スマートフォンやタブレット、パソコンで全統模試の復習や成績確認などができるサービスです。

河合塾模試によるわかりやすい解説動画も視聴可能! 今回の模試で出題された問題を解説しています。難関大模試必ずチェックして志望を高めましょう。

個人成績や偏差値(得意科目)もANTENNAも閲覧可能! いつでも、どこでも、復習のポイントを確認することができます。

次回に向けて...  
 模試ナビでは、次回の模試の目標設定や、模試受験後の自己採点をすることができます。入力した情報と成績結果との比較もできますので、振り返りや自己分析にも役立ちます。

模試ナビの情報の詳細や登録方法はこちらから!  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/)

河合塾大学入試情報サイトKei-Netでは、すぐに役立つ入試情報・大学情報を提供中!  
**大学検索システム**  
 学部学科や取得可能な資格、偏差値などから大学を探せます!

**オープンキャンパス情報**  
 オープンキャンパスで見るべきところや、各大学の開催情報を確認できます!

**先輩の声**  
 現役大学生の先輩たちが、学習法やキャンパスライフの様子を紹介しています!

Webで検索して、すぐアクセス!  
[www.keinet.net.jp](http://www.keinet.net.jp) ケイネット

河合塾

## 個人成績表の見方<注釈>

### 1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

### 2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

### 3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

**国公立大**については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

**私立大・短期大**については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を、以下の5段階で表示しています。

A : この調子で頑張れば合格圏内
B : もうひとふんばりで合格圏内
C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう
D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう
E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう
H : 教科不足による国公立大参考評価

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)



### 4. 成績推移

■本年度の第1～3回全統高2模試・全統記述高2模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

### 5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

## ◆総合成績表 受験者総数 **75,453**名

英数（理系）、英国（文系）は、文理別の全受験者を母集団としています。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英数型	400	162.7	-----	48.5	335	28	1325
英国型	400	145.4	-----	46.4	315	0	3346
英数国型	600	252.3	-----	50.1	537	0	70620
英数	400	191.0	-----	52.1	399	0	39234
英国	400	161.7	-----	49.1	351	0	36057

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を河合塾ホームページに掲載しています。  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/)

スマートフォンの方は  
こちら



## ◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英語	200	91.0	37.1	50.0	199	0	75327
数学	200	83.5	39.6	50.0	200	0	72034
数学必須	150	64.5	32.4	50.0	150	0	72034
数学選択	50	19.1	10.0	50.0	50	0	71709
国語	200	76.4	24.2	50.0	167	0	74040
現代文	110	50.1	14.7	50.0	97	0	74040
古文	50	17.5	8.3	50.0	48	0	74040
漢文	40	8.8	6.6	50.0	38	0	74040

## ◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。  
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

## 英 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	91.0	37.1	199	0	75327
1	リスニング	31	16.3	6.9	31	0	75327
2	単語・イディオム	20	9.8	4.1	20	0	75327
3	文法・語法	26	13.3	4.9	26	0	75327
4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	10.2	6.1	29	0	75327
5	長文総合Ⅰ	54	21.0	12.4	54	0	75327
6	長文総合Ⅱ	40	20.6	11.2	40	0	75327

## 国 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	76.4	24.2	167	0	74040
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	29.0	9.3	56	0	74040
2	現代文「随筆」の読解と内容把握	50	21.2	8.4	47	0	74040
3	古文「物語」の読解と内容把握	50	17.5	8.3	48	0	74040
4	漢文「史伝」の読解と内容把握	40	8.8	6.6	38	0	74040

数 学 \*数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	83.5	39.6	200	0	72034
1	数学Ⅰ・Aの小問集合	40	28.7	9.1	40	0	72034
2	図形と計量，場合の数	60	21.8	16.5	60	0	72034
3	2次関数	50	14.1	11.2	50	0	72034
4	式と証明，複素数と方程式	50	20.8	10.8	50	0	42175
5	確率	50	16.7	8.1	50	0	29534

## 小問（単位問）別平均点＜英 語＞

英 語 受験者数： 75327 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.		知識技能	思考力判断力	表現力				
				配点	平均点							
1	リスニング	31	16.3	1. A. 1	2	0.9	○					
				1. A. 2(a)	2	1.4	○					
				1. A. 2(b)	2	1.9	○					
				1. A. 3(a)	2	1.8	○					
				1. A. 3(b)	2	1.5	○					
				1. B. 1	3	2.2		○				
				1. B. 2	3	1.3		○				
				1. B. 3	3	2.0		○				
				1. C. 1	4	0.5		○				
				1. C. 2	4	1.5		○				
				1. C. 3	4	1.3		○				
				2	単語・イディオム	20	9.8	2. A. 1	2	1.2	○	
								2. A. 2	2	1.3	○	
2. A. 3	2	1.1	○									
2. A. 4	2	0.5	○									
2. A. 5	2	0.7	○									
2. A. 6	2	0.9	○									
2. B. 1	2	1.0	○									
2. B. 2	2	1.2	○									
2. B. 3	2	1.1	○									
2. B. 4	2	0.7	○									
3	文法・語法	26	13.3					3. A. 1	2	1.5	○	
								3. A. 2	2	0.7	○	
								3. A. 3	2	1.3	○	
				3. A. 4	2	1.1	○					
				3. A. 5	2	1.1	○					
				3. A. 6	2	1.0	○					
				3. A. 7	2	1.6	○					
				3. A. 8	2	1.2	○					
				3. A. 9	2	0.8	○					
				3. A. 10	2	0.3	○					
				3. B. 1	3	1.3	○					
				3. B. 2	3	1.4	○					
				4	英作文（整序作文・和文英訳）	29	10.2	4. A. 1	4	2.2	○	
4. A. 2	4	1.3	○									
4. A. 3	4	1.9	○									
4. A. 4	4	0.2	○									
4. B. 1	5	1.9	○									
4. B. 2	8	2.7	○									
5	長文総合 I	54	21.0	5. 問1	3	1.7		○				
				5. 問2	10	5.4	○					
				5. 問3	3	1.2		○				
				5. 問4	3	0.9		○				
				5. 問5	10	3.8	○					
				5. 問6	10	3.2		○				
				5. 問7	4	1.8		○				
				5. 問8(A)	5	2.7		○				
				5. 問8(B)	6	0.2		○				
6	長文総合 II	40	20.6	6. 問1. 1	6	3.1		○				
				6. 問1. 2	6	3.0		○				
				6. 問1. 3	6	3.8		○				
				6. 問1. 4	6	2.8		○				
				6. 問1. 5	6	3.4		○				
				6. 問2	10	4.5		○				

## 小問（単位問）別平均点＜数 学＞

数 学 受験者数： 72034 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.		知識技能	思考力判断力	表現力
				配点	平均点			
1	数学 I ・ A の小問集合	40	28.7	1(1)	5	4.5	○	
				1(2)	5	3.2	○	
				1(3)	5	3.1	○	
				1(4)	5	2.7	○	
				1(5)	5	4.0	○	
				1(6)ア	5	4.8	○	
				1(6)イ	5	4.0	○	
2	図形と計量，場合の数	60	21.8	2[1](1)	6	3.9	○	
				2[1](2)	12	5.8	○	
				2[1](3)	12	0.5		○
				2[2](1)	6	3.4	○	
				2[2](2)	10	5.1	○	
3	2次関数	50	14.1	2[2](3)	14	3.1		○
				3(1)	8	5.5	○	
				3(2)	10	5.6	○	
				3(3)(i)	14	2.5		○
				3(3)(ii)	18	0.5		○
4	式と証明，複素数と方程式	50	20.8	4(1)	6	4.8	○	
				4(2)	8	6.7	○	
				4(3)(i)	8	4.9	○	
				4(3)(ii)	12	3.3		○
				4(4)	16	1.0		○
5	確率	50	16.7	5(1)	6	5.6	○	
				5(2)(i)	10	7.0	○	
				5(2)(ii)	10	3.2	○	
				5(3)(i)	10	0.7		○
				5(3)(ii)	14	0.2		○

# 小問（単位問）別平均点<国 語>

国 語		受験者数： 74040 人													
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力						
1	現代文「評論」の読解と内容把握	60	29.0	1.問1.a	2	1.1	○								
				1.問1.b	2	1.1	○								
				1.問1.c	2	1.5	○								
				1.問1.d	2	1.6	○								
				1.問1.e	2	1.0	○								
				1.問2	8	3.5		○							
				1.問3	7	3.3		○							
				1.問4	7	4.0		○							
				1.問5	16	6.0					○				
				1.問6	12	5.8					○				
				2	現代文「随筆」の読解と内容把握	50	21.2	2.問1.a	2	1.3	○				
2.問1.b	2	1.6	○												
2.問1.c	2	1.6	○												
2.問2.x	2	0.2	○												
2.問2.y	2	1.5	○												
2.問2.z	2	0.3	○												
2.問3	7	3.8								○					
2.問4	7	1.8								○					
2.問5	16	6.0										○			
2.問6	8	2.9									○				
3	古文「物語」の読解と内容把握	50	17.5					3.問1.1種類.a	1	0.7	○				
				3.問1.1種類.b	1	0.8	○								
				3.問1.1種類.c	1	0.6	○								
				3.問1.1種類.d	1	0.7	○								
				3.問1.1種類.e	1	0.7	○								
				3.問1.2形.a	1	0.6	○								
				3.問1.2形.b	1	0.8	○								
				3.問1.2形.c	1	0.8	○								
				3.問1.2形.d	1	0.5	○								
				3.問1.2形.e	1	0.7	○								
				3.問2.X	2	0.9	○								
				3.問2.Y	2	0.2	○								
				3.問3.1	2	0.2	○								
				3.問3.2	3	2.0	○								
				3.問3.4	2	1.0	○								
				3.問4	12	1.9				○	○				
				3.問5	8	0.7				○	○				
				3.問6	7	2.5				○					
				3.問7	2	1.3	○								
				4	漢文「史伝」の読解と内容把握	40	8.8	4.問1.ア	2	0.6	○				
								4.問1.イ	2	0.3	○				
4.問1.ウ	2	0.5	○												
4.問2.a	3	0.6	○												
4.問2.b	3	2.0	○												
4.問3	8	1.3	○												
4.問4	4	2.0	○												
4.問5	6	0.7	○												
4.問6	10	0.8				○	○								

# 数 学

## 学 習 対 策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認をしてください。

## 英 語

これまでに学習した知識を確実に使いこなそう！

### 第1問 リスニング

文法力を駆使するとともに音声変化に注意する問題。

リスニングのディクテーション問題では文法力を駆使するとともに、音声変化に注意することが重要である。英語は文になると音声に変化し、単語が聞き取りづらくなることがある。音声変化の代表は「連結」「脱落」「同化」である。リスニング力を高めるには、「連結」「脱落」のルールを熟知し、「同化」の例を覚えることが肝要だ(【学習の手引き】で確認しよう)。A ディクテーション問題の2. I ( ) ( ) make an apple pie, but it was too difficult. の正解は tried to であったが、try to, tries to などさまざまな誤答が見受けられた。空所の直前は I で、後半の文の時制が過去形なので、文法的に try や tries が入らないことに気づいてほしかった。さらに、「語末の子音と語頭の子音が似ている音の場合、語末の子音が発音されないことがある」という音の「脱落」のルールのせいで、to の語頭の子音 t と似ている tried の語末の子音 d の音が「脱落」し、読まれた単語の音は /traɪdɪt/ ではなく /traɪtə/ だったのだ。ディクテーション問題では単語を聞き取ることに集中するのではなく、空所には文法的に何が入るかを考えると同時に音声変化のパターンに注意すれば、確実に得点は伸ばせるはずだ。ディクテーション力がつけば必ずリスニング力は向上する。

### 第6問 長文総合

本文の内容を別の表現で表している選択肢が正解である問題。

英文で書かれている内容一致問題では、正解の選択肢は本文の内容を別の表現で言い換えていることが非常に多い。したがって、本文と同じ表現がある選択肢が正解だろうと勝手に決め込んでしまうと失点しかねない。選択肢の英文中に本文に書かれていない表現がある場合は、該当箇所とよく照らし合わせ、言い換えとして成立するかを必ず点検してほしい。問2の正解Eを選択できない答案が多かった。Eの本文の該当箇所の第11~13段落の趣旨「マイケルの父親は『フレディ叔父さんの遺品からマイケルが見つけた文字と絵で埋め尽くされた漫画の本をフレディ叔父さんはマイケルに持っていてほしいと思っているだろう』と言った」と第14~17段落の趣旨「マイケルは、フレディ叔父さんが書き留めたものを念入りにすべて読み、美術の先生の助けを借りて、フレディ叔父さんが描いたキャラクターと計画していたストーリーの漫画化を完成させ1冊の本にした」と照らし合わせれば、E. 「マイケルの父親はフレディ叔父さんの未完の漫画本を息子に持っていてほしいと思った」が読み取れるはずだ。共通テストや大学入試問題でも、英文の内容一致問題では、本文と同じ表現を使って誤答の選択肢が作成され、本文の内容を別の表現で書き換えた選択肢が正解であることが非常に多い。内容一致問題では、本文を読むことに時間をかけすぎずに、選択肢を該当箇所と比べることに充分時間をかけてほしい。このコツを自分のものにすることができれば、内容一致問題の正答率はきっと上昇するはずだ。

基本事項を確認し、思考力も養おう

### 第1問 数学I・A 小問集合

数学I・Aの基本事項

数学I・Aの各分野の基本事項を問う小問であったため、すべての小問で正解してほしかったが、いくつかの小問で出来があまりよくなかったものがあった。出題された小問は、大問において前半の設問として出題される可能性もあるため、数学の成績を伸長・安定させるための第一歩として、すべての分野で穴の無いように基本事項を確認し、小問集合を高い割合で正解できる学力を身に付けるようにしてほしい。出来がよくなかった問題について、(4)で  $\sin\theta = \frac{\sqrt{15}}{4}$  と答えている答案、(6)イで与えられたデータを値が小さい順に並べ直さずに第3四分位数を求めている答案が散見された。また、(7)の方べきの定理を利用する問題の出来も良くなかった。

### 第2問[1] 数学I 図形と計量

三角比の相互関係、余弦定理、正弦定理の利用

(1)の辺CAの長さを求める問題は出来が良かった。また、(2)の  $\cos\angle BAC$  の値、三角形ABCの面積を求める問題の出来もほぼどであった。本問の(1)と(2)は、共通テストや国公立大学の2次試験、私立大学入試で「数学I：図形と計量」分野の問題が出題されると、問題の前半でよく出題される問題である。余弦定理、三角形の面積公式は確実に利用できるようにしておきたい。

(3)は、三角形ABCの面積を三角形ABDの面積と三角形ACDの面積の和と捉えて線分ADの長さを求めた。このような解法を用いることができるのは、 $\sin\angle BAD$  の値と  $\sin\angle CAD$  の値が求められる場合に限られる。その為、(3)の別解の解法もしっかり確認しておいて欲しい。(3)の別解では、『どの三角形に』、『何を用いて』線分BD、線分CDの長さを求めることが出来るかを考えなければならない。入試問題では解いた経験のある問題ばかりが出題される訳では無いので、『どのように考えれば結論が得られるか』をしっかり思考する訓練をしていくようにしよう。

# 国語

## 【現代文】

### 問五

#### 思考力や記述力を問う問題

設問で求められている「病になった人の『語り』」については、第13段落以降でまとめて説明されているため、全統高2模試で出題する記述問題としては、比較的解答を作成しやすかったと思われる。だが、第13段落以降の説明では、b「理不尽な現実」、c「不完全な言葉であっても語る」、d「意味を与える」といった解答のポイントとなる内容が、表現をかえて何度もくりかえし説明されている点に注意しなければならない。制限字数のある記述問題では、重複した内容をできるだけ書かないことが重要である。同内容をくりかえし書いてしまうと、字数に余裕がなくなり他のポイントが書けなくなってしまうからだ。今回の場合でも、a～cと同内容の説明をくりかえし書いてしまうと、本文の末尾から読み取れるe、fのポイントを書く余裕がなくなってしまうだろう。記述問題では、重複した説明をできるだけ避けて、各ポイントを端的に示すよう心がけてほしい。

### 問五

#### 思考力や記述力を問う問題

本文では、「生物の絶滅」に対して人間がどのような態度を取るべきかについて、「教科書的な回答」と人間の「本音」が説明されている。「教科書的な回答」について筆者は「嘘ではない」と述べているので、設問の要求を満たした解答としては、人間の「本音」に当てはまるd～fのポイントだけでなく、「教科書的な回答」に当てはまるa～cのポイントについても説明しなければならない。だが、それらの「教科書的な回答」が十分に書けていない解答が多かった。「教科書的な回答」についてあまり書けなかった人は、なぜ書けなかったのか振り返ってみてほしい。「教科書的な回答」について筆者が肯定していることがわからなかったのであれば、本文をもっと正確に読み取れることを心がけよう。「教科書的な回答」についても書こうとしたが、制限字数内にうまくまとめることができなかったのであれば、説明すべき内容を端的にまとめる表現力をこれから鍛えていこう。

## 【古文】

### 問三・問五

#### 重要古語の習得と説明問題

古文において、やはり重要語句や語法の学習は疎かにできない。そういう観点から、問三の訳出問題はもっとも直接的で重要な設問である。今回は、高2の第一回ということもあって、平易なもの(傍線部2)、標準的なもの(同4)、やや難易度の高いもの(同1)を、一問ずつ配してある。これらがどれだけできたかによって、他の受験者との差異が明らかになる。今回はとくに1「ありがたく」・4「年ごろ」で得点できたかどうかを点検すること。この二つは、ともに重要古語で高2の前期段階ではぜひ習得しておくべきものである。次に、説明問題だが、より深い内容を問う問四よりも、本文全体の基本的主旨が理解されたかどうかを見る問五ができたかどうかを点検すること。今回は、問五よりも問四で満点でなくてもある程度得点できていたとの印象だが、問四で、傍線部前後の内容が読めていたはずなのに失点したのはなぜだったかという反省は、今後の学習に向けて重要である。こういった不備の点検は、やはり全体的な受験者のなかでは得点に差異を生じさせる大きな要因となる。

## 【漢文】

### 問六

#### 文章の展開を理解し、工夫して表現する力を問う問題

本文を丁寧に読解し、解答の根拠となる部分を特定し、その部分を逐語訳して設問の要求に即してまとめるのが説明問題の解答を作成する手順である。

主人の貴重な数珠を盗んだことが露見した召使いには厳しい裁定が下されるはずだが、主人の董誥は罪に問うことが無かった。これだけでは召使いが董誥に感謝するようになった説明にはならない。主人のものを盗んだとなれば、たとえ罪を許されても奉公を解かれ屋敷から追放されるのが普通である。召使いに対する論<sup>まじ</sup>とその後の対処の内容をまとめる。追放されると頼るものがない召使いは路頭に迷うことになる。董誥はそれを哀れみ、以前とかわりなくそのまま家で仕事に従事させた。この董誥の配慮に感謝したのである。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第1回全統高2模試を受験していただきありがとうございました。  
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、  
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに、郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は、記入例を参考に以下の事項を記入してください。

1. 科目名、大問・設問番号
  2. 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
  3. 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- \* 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。  
 \* なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

1. 「採点に関する問い合わせ用紙」  
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。)
  2. 「個人成績表」  
 (コピーでもかまいません。)
- \* ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第1回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

- \* 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、**お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。**  
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。)  
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

7月11日(木)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、8月6日(火)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 問い合わせ用紙に記入された個人情報は厳重に取り扱い、適正な個人情報の管理を実施します。
2. 利用目的 ・成績処理および成績返却  
 ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は模試受付センターへお問い合わせください。

※河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

模試受付センター(12:00～19:30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。)

0120-977-558

\*模試受付センターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただいております。

2024年度 第1回全統高2模試 採点に関する問い合わせ用紙

\*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ氏名				受験会場名				
受験番号				個人成績表の解答用紙番号	—			
高校名			クラス名			クラス番号		
住所(連絡先)	〒 — ※マンション名、部屋番号まで記入してください。							方
電話番号	( ) —		携帯電話番号	( ) —				

\*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学 口	[5]	[2]	B

←該当する項目(A～E)を左に記入してください。

- A: 正答が×になっている。
  - B: 部分点が正しく与えられていない。
  - C: 採点されていない箇所がある。
  - D: 成績表の得点が、答案と異なる。
  - E: その他(下記に具体的に記入してください。)
- \*志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】\*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

〔回答欄〕

回答者

受付日	受付者	返却日	返却者



## お問い合わせ先一覧

### ■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-977-558  
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾模試受付センター 0120-717-558  
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577

\*河合塾模試受付センター／高校グリーンコース生専用フリーダイヤル（12：00～19：30 日曜、祝日および12/31～1/3は受付を行いません。）

### ■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎  
②河合塾生以外の方 河合塾模試受付センター 0120-977-558  
[www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/](http://www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/)



### ■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9：00～17：00（土日祝休み）

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584  
【担当地区：北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-6-27 (河合塾仙台校内) TEL(022)215-7581  
【担当地区：青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581  
【担当地区：茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532  
【担当地区：千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511  
【担当地区：岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731  
【担当地区：石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581  
【担当地区：島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711  
【担当地区：福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】